



桑名市における「法福連携」のあゆみ



○平成 23 年度

4月 桑名市内に初めての弁護士事務所が開設され、直営型地域包括支援センター職員が訪問し、連携依頼。

11月 成年後見市長申立事案を初めて司法書士が受任。

○平成 24 年度

5月 成年後見市長申立事案を初めて弁護士が受任。

2月 高齢者虐待防止研修会に初めて弁護士、司法書士が参加。出席者 68 名。

○平成 25 年度

11月 困難事例要因調査実施。経済的困窮事例が 41.1%、法務関連が 28.3%。

3月 高齢者虐待防止研修会に初めて行政書士が参加。出席者 86 名。

○平成 26 年度

5月 桑名市社会福祉協議会法人後見運営委員会発足、弁護士、司法書士が委員に加わる。

6月 厚生労働省ホームページ「地域包括ケアシステム構築の取組事例」に採用。

6月 桑名市、三重弁護士会、三重県司法書士会の共催で法律専門職向け認知症サポーター養成講座を開催。出席者 57 名。

10月 地方自治研究全国集会において地方自治研究賞を受賞。

12月 桑名市「法福連携」懇談会発足。

12月 日本経営協会研修テーマに「法福連携」が採り上げられる。

2月 高齢者虐待防止研修会に初めて土地家屋調査士が参加。出席者 62 名。

2月 総務省ホームページ「地域の元気創造活動事例」に採用。

○平成 27 年度

7月 桑名市福祉後見サポートセンター設立。福祉後見サポートセンター運営委員会発足、弁護士、司法書士が加わる。

9月 桑名市高齢者虐待気づきシート作成、配布。

10月 成年後見市長申立事案を初めて行政書士が受任。

10月 高齢者虐待防止研修会に初めて税理士が参加。出席者 109 名。

2月 日本総合研究所『達人ケアマネ』に紹介記事掲載。

2月 市内デイサービスを法福連携懇談会メンバーが訪問、介護現場の状況聞き取り。

2月 市民後見人養成講座開講、弁護士、司法書士が講師に加わり、土地家屋調査士、社会保険労務士が受講者に加わる。

○平成 28 年度

9月 「法福連携」懇談会で桑名市版高齢者虐待対応ロールプレイング（K-GTR）開発。

10月 高齢者虐待防止研修会に初めて社会保険労務士が参加。出席者 63 名。